

社会

新しい環境、新しい暮らし
理想の物件を検索

おすすめ

- ボールボーイに乱暴の馬渡、出場停止処分 (2017年05月02日)
- 女子高生が高校運営代表に
- 線路に伏せる男性、電車が通過して停車…姿消す (2017年05月01日)
- 山菜の場所、秘密にすると
- [PR] 旅行中の駐車代は、クルマが自分で稼ぎます！「車両クラウド」の研究とは？ (TIME & SPACE by KDDI)
- [PR] サントリーが白州の
- し by 白州)

トップ

社会

文字サイズ 小 中 大

携帯圏外・少ない外灯…不便さ楽しむキャンプ場

2017年05月05日 20時27分

ツイート

おすすめ 25

G+ 0

B! 0



豊かな自然と穏やかな時間を楽しめる
「炭焼の杜 明ヶ島キャンプ場」

静岡県掛川市北部の山間部にある「明ヶ島キャンプ場」（同市炭焼）が再オープンした。

携帯電話が通じず、外灯もない「不便さ」を売りにしたキャンプ場で、月明かりを楽しみ、鳥や虫の鳴き声が響く自然の空間をアピールしている。

ＪＲ掛川駅から車で約１時間の位置にあるキャンプ場は、広さ約４２６０平方メートル。敷地中央を流れる溪流には、アマゴやモクズガニなどが生息する。

「炭焼の杜^{もり} 明ヶ島キャンプ場」として再オープンした施設には、溪流にせり出す「ウッドデッキサイト」や、森に浮かぶような高台の「ステージ付き区画サイト」（６基）、炊事場などが整備された。コテージ３棟はペットを連れて行け、放し飼いができるドッグランもある。

携帯電話の電波は圏外で、外部への連絡手段は管理棟にある有線電話１台のみ。整備を手がけたアウトドアプロデューサーの松山拓也さん（４４）は「景観を大切に、電灯や安全柵は最小限の整備にとどめた。

何もないぜいたくを楽しんでもらいたい」と話す。

キャンプ場は、市が１９７８年度に建設し、地元住民でつくる組合などが運営していたが、利用客の減少に加え、台風被害もあり、２０１３年度に休止に追い込まれた。地元の建設会社「山田」（山田珠一社長）が市から施設の無償貸与を受け、昨年５月から再整備に着手した。

雨漏りしていたコテージを修繕したほか、うっそうとした樹木を伐採し、駐車場を造成した。４月２６日に現地で開かれた再開を祝う式典で、松井三郎市長は「何もないから五感がとぎすまされ、日頃の疲れを癒やすことができる。多くの人に訪れてほしい」と期待を込めた。山田社長は「地域の皆さんと一緒にキャンプ場を育て、地域の活性化につなげたい」と話した。

利用は４月～１１月末。料金は４０００～８０００円で、環境維持費（１人５００円）が別途必要。ホームページ「炭焼の杜 明ヶ島キャンプ場」で検索できる。問い合わせは、同キャンプ場（０５３７・２５・２５０７）へ。

2017年05月05日 20時27分

Copyright © The Yomiuri Shimbun

今話題の
PlayStation®VR他
ペイパル決済して
抽選であたる!

無料アカウントを開設